



民児協こもろ

～民生児童委員は市民の皆さんに一番近い相談相手～

編集 小諸市民生児童委員協議会 広報部会

民生児童委員全体研修会開催

2月26日（火）小諸市文化センターにおいて民生委員児童委員全体研修会が開催されました。

講師は、昨年に引き続き長野大学社会福祉学部准教授の合田盛人氏です。

研修内容は、昨年の「基本的なコミュニケーションとは」をおさらいし、今回は「相談者の問題を解決に導く面接技法」についてでした。

行政などの専門職（相談員）の援助と家族、友人、知人などへの相談が思いや



講師の合田盛人准教授



研修会場の様子

りなどにより自然発生的に始まる援助について説明をしていただき、双方の援助関係を、対比しながら講義をしていただきました。さらに、専門職の援助については、相談者にとって最も意味のある援助が必要とされています。昨年と、今回の研修を通して、いかにコミュニケーションと解決に導く面接が大事であるかということを学び、これからの民生委員児童委員としての活動に活かしていくことが大切だと思いました。

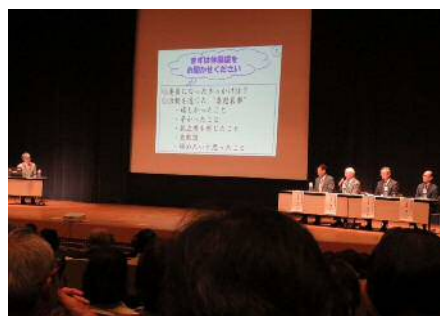
民生児童委員 一period目研修

地区の委員を仰せつかって約2年が過ぎ、ようやく慣れてきましたが「民生委員は大変だよ」という知人の助言通り解らない事の連続です。

昨年の10月16日（火）に佐久市コスモホールで民生児童委員研修が開催されました。参加者は東信地区の1期目の委員、約550名です。最初は居眠りでもしていようと思っていました。が、各々8年～14年の経験を持つパネラー4名の話しの内容が素晴らしく目がさめてしまいました。



壇上のパネラーの皆さん



パネラーと講師の方々

委員としての苦労や喜び、日々の活動事例発表を聞いて、やがては自分の問題としてとらえ、地域の人々の役に立ちたい、地域や周りの人々を巻き込んで自分の問題として支え合い続ける前向きで積極的な活動をしている3期目、4期目の委員が沢山いることを知りました。

私も「人が喜ぶことを自分の喜びとする」の精神で、「支え合う住みよい社会」を地域から実践していきたいと思います。帰り道で見た佐久平の収穫間近な稲穂を見ながら「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の諺を思い出していました。

全国児童委員 研究協議会報告

平成31年1月22日、23日に新横浜プリンスホテルで開催されました。

厚生労働省子育て支援課 依田専門官の行政説明の後「子育てを応援する地域づくりを目指して」と題し明治学院大学・松原康雄氏の講演がありました。

子どもの貧困、いじめ、不登校、児童虐待の問題があげられるなか、多様性の承認「子育てはこうあるべき」という価値観や「一般常識」を押しつけていない



講師の松原康雄先生

か振り返り、地域社会や家族の変容に対する理解をし、見守る眼を持ち、聴く耳（子供の声を聴く子育てサロン親と子がよりそう場、親がぐちを話せる場）支える手、協育が大切であるという事。そして児童相談所や関係機関につなげる活動としての役割をしっかりと認識し学習を深める良い学習ができました。

シンポジウムでは「地域の子育て応援団をめざして」と題し、熊本の宮澤矢良さんが「子育てサークルで交流ミニうんどうかい」の取組みの報告、仙台市の森孝義氏が「一丁目の寺子屋」学習支援活動の報告、滋賀県、社会福祉法人六心会の堤洋三氏のコミュニティ食堂についての報告が行われました。

小諸東中で行われているボランティア「学びの庭」や、小諸の「こども食堂」も同様の良い取組で今後も継続していかねければならないと感じました。

パネラーの活動発表



2日目は分科会が開かれ、第2分科会「子どもたちの身近なおとなになるために」に参加しました。

パネラーは社会福祉法人至誠学舎立川の高橋久雄氏の他に、徳島県白濱たか子さんの「子育てサロン活動」と京都市山根太一氏の「赤ちゃんサロンいけちゃ」の実践事例活動の発表がありました。

主任児童委員連絡会の中でも以前から議論していますが、子育て中のお母さん方とのコミュニケーションの交流などにも今後私達がとり

くまなければいけない課題であると学習させていただきました。

主任児童委員連絡会

副会長 掛川渡

一期多会

地域社会のつながり

介護予防地域交流事業や『健康達人区らぶ』が有ります。

ご近所のつながり、いきいき生活では歌やゲーム、体操をして楽しみました。笑顔で大きな声で笑う声を聞いて、あらためて皆さんの交流の場であり、憩いの場です。雑談で花を咲かせ楽しい日でした。

ご近所のつながりを大切に



に、沢山の参加を呼び掛けております。相手に寄り添うことの大切さを痛感し、お互いに仲良く明るく過ごせる社会でありたいと思います。

特殊詐欺についての講話では、身近な体験談を話され、実際に電話を受けたが、旨くかわすことができ、難を逃れた等の情報交換ができました。

『健康達人区らぶ』は、お互いに信頼関係が生まれる良い機会になり、私自身も地域の皆さんと触れ合う大切な場所です。

これからも続けていくため社会福祉協議会の皆さまお世話になります。

北大井地区民生児童委員